

まっしまメンタルクリニック

精神科・心療内科・神経科

福岡県福岡市博多区博多駅東1-13-17 松岡ビル2F

TEL.092-432-6110 FAX.092-432-6112

http://www.matsushima-mc.com

対談

院長

松島 道人 ×

インタビュー

清水 章吾

医学博士 精神保健指定医
日本精神神経学会認定専門医・指導医

【俳優】

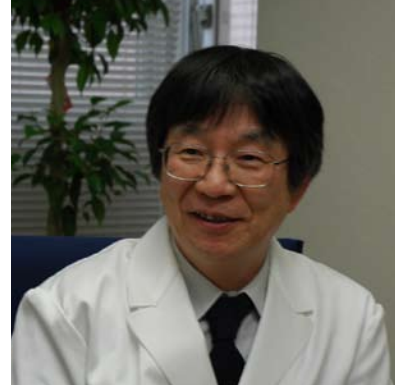


SAMPLE

INTERVIEW
MICHIHITO MATSUSHIMA × SHOGO SHIMIZU



人々の心を支え、病気を経験して成長を促すサポートを实践



松島 診療に際しては大きく三つの方針を掲げました。まず第一に、うつ病、不安障害、睡眠障害など、精神科のクリニックで最もポピュラーな病態に対応できるようにしました。また、ここは会社や官庁などオフィスが多い地域なので、勤め帰りに受診できるように、診療時間を夕方遅くまでにしました。
清水 なるほど。それは便利ですね。
松島 第二に、てんかんや認知症に伴う精神・心理症状、いろいろな身体疾患に伴う精

神症状に対応できるようにしました。私は大病院で、睡眠障害やてんかんなど脳波を使った診療を得意としましたし、他科の入院・外来や救急外来などの患者さんに見られる精神症状に対して精神科コンサルテーションを長く行なっていました。当院でも、精神機能、心理・社会的機能だけでなく、脳機能、身体状態を総合的に考えながら診療を進めたいと思います。脳波の検査ができるようになりました。そして、地域の他科医療機関と連携して、地域版精神科コンサルテーションをしていきたいと思っています。
清水 連携体制もしっかり構築されると。
松島 はい。そして第三に、心理テストや各種評価尺度を用いて、精神症状をできるだけ客観的に数値化しながら、治療を進めていきたいと思っています。患者さんが多くなってきたので、業務が多忙になると、こうしたいことを日常的に行なうのが難しくなっていくのが通例ですが、電子カルテの導入や、臨床心理士、臨床検査技師、医療事務担当者らスタッフ全員で診療を効率化することで、実現していきたいと思っています。

清水 ストレス社会の現代を反映するかのよう、うつ病を始めとして心や精神を病む方が増えていますが、こちらではどのような患者さんが多いのですか。
松島 うつ病、不安障害、睡眠障害を始め、認知症、てんかん、もの忘れ相談、メンタルヘルス相談など多岐にわたります。訴えとして多いのは、気持ちが落ちこむ、おっくう、集中できない、眠れない、疲れやすい、頭

痛などです。更に進むと、いろいろな事、仕事が手につかない、出勤したくない、などが出てきます。症状の内容や程度は個人個人で異なりますので、初診には十分に時間を掛け問診に加えて、心理テストやいろいろな評価尺度を補助的に使って診立てをするようにしています。
清水 やはり最初が肝心なのですね。検査も治療の重要な一環ですね。
松島 おっしゃる通りです。脳波検査はもとより、各種心理テスト、心理カウンセリングなど、薬物療法、精神療法、環境調整などをバランス良く組み合わせ治療を行なうようにしています。

清水 では、院長の普段の心構えとして、スタッフの皆さんにご指導されていることはいいますか。
松島 私は話しやすい雰囲気づくりを心掛けています。スタッフにも明るい笑顔や親切で優しい対応をお願いします。

清水 最後になりますが、将来への抱負や目標がございましたらお聞かせ下さい。
松島 患者さんが「良くなった」「病気を経験して成長した自分がある」と感じて頂けるようになってほしいと思います。治療の中に教育的要素も織り込んで「先生がこう言っていたな」「この状態ならこういふふうにする方がいいかな」と患者さんが自分で対処できるようになって、再発しにくい状態になっていけると幸いです。病気をしたことで、自分のあり方を見直すことになり、病気になる前よりも成長することを願っています。健康と病気が繋がっていますし、脳と身体も繋がっていますので、リラクゼーションやストレス緩和のケア、心のアンチエイジングなど、日常生活全般を視野に入れた、病気になる前にケアできればと考えています。

清水 地域精神科コンサルテーションでもご活躍の場を広げていかれますように。

①INFORMATION

心の相談と真摯に向き合い、
安心と納得の治療を提供します。

